

2025 年9月4日

ご支援者様各位

特定非営利活動法人
国際連合世界食糧計画 WFP 協会
会 長

安藤宏基

国連 WFP 協会「アフガニスタン地震緊急食料支援」へのご寄付のお願い

拝啓 残暑の候、貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より国連 WFP の活動に格別のご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

アフガニスタン東部で 8 月 31 日深夜に発生したマグニチュード 6.0 の地震を受け、WFP 国連世界食糧計画(国連 WFP)は被災地域で緊急食料支援を開始しています。

この地震により、数百人が亡くなり、数千人が負傷・被災しました。国連 WFP は、まずパキスタン国境付近の被災地域に栄養強化ビスケットと移動式倉庫を提供しました。さらに、国連 WFP が運営する国連人道支援航空サービス(UNHAS)は、震源地に近いジャララバードへの人員・物資輸送の増便を準備しています。一部地域では洪水も発生しており、今後数日間の厳しい天候により、人道状況の一層の悪化が懸念されます。

つきましては、本緊急食料支援へのご寄付をご検討いただけますと幸いです。迅速なご支援が命を救います。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

ハラルド・マンハルト 国連 WFP アフガニスタン事務所副代表による声明

現地で目にしている光景は壊滅的です。家屋は瓦礫と化し、道路は寸断され、地滑りが至る所で発生し、そして悲しいことに多くの命が失われています。私たちのチームは、支援を必要とする人々に緊急食料を届けるため、昼夜を問わず活動していますが、現実是非常に過酷です。多くの家庭が十分な食料を持たず、多くの子どもたちがすでに栄養不良に陥っています。幼い子どもを抱える家族にとって、これは最悪の状況です。



アフガニスタン東部クナル州の地震で損壊した家屋の様子



トラックに支援物資を積み込み、クナル州へ配送する様子

敬具

2025 年9月 4 日

ご支援者様各位

特定非営利活動法人
国際連合世界食糧計画 WFP 協会
会 長

安藤宏基

国連 WFP 協会「パレスチナ緊急食料支援」へのご寄付のお願い

拝啓 残暑厳しき折、皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より国連 WFP の活動に対し格別のご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

現在、パレスチナ・ガザでは最も深刻な「飢きん」が確認され、中東で前例のない事態となっています。全住民約 220 万人が深刻な食料不安に直面し、今後も飢きんの危機が拡大する見通しです。子どもの栄養不良は急速に悪化し、耕作地の大半が損壊しています。燃料・水・医薬品は極度に不足し、度重なる避難で生活基盤が崩れ、壊滅的な食料危機の深刻さを物語るものがあります。WFP は現地で実績ある配給体制を維持し、可能な限り支援を届けています。

「飢きん」は、食料不安の中で最も深刻な状態であり、「極度の食料不足」と定義されています。

去る 8 月、横浜にて開催された第 9 回アフリカ開発会議(TICAD9)に際し来日された WFP 国連世界食糧計画事務局長であるシンディ・マケイン氏と意見交換の機会がございました。同氏はパレスチナ・ガザの現状について次のように述べています。「飢きんの確認は何ヶ月も前から警告していた。いま緊急に必要なのは、支援の急増、安全な環境、そして最も支援を必要としている人々に確実に届けるための実績ある配給システムです。命を救うために、全面的な人道的アクセスと即時停戦が不可欠です。」

つきましては、パレスチナ・ガザへの緊急食料支援につき、人道支援の観点からご支援をご検討いただけますと幸いです。迅速な資金と物資の拠出が命を救います。何卒、格別のご理解とご協力をお願いいたします。

敬具